

利上げ加速への耐性がみられた米国株



シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 利上げ加速への耐性強まる米国株

米労働省が8月5日に発表した7月の米雇用統計は、非農業部門就業者数が前月から52.8万人増と市場予想（25.0万人増）を大幅に上回るなど、米雇用の強さを示す内容となりました。平均時給も前年同月比で5.2%増と市場予想（4.9%増）を上回り、FF金利先物が上昇するなどFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げ加速懸念が再び市場では強まっています（右上図）。

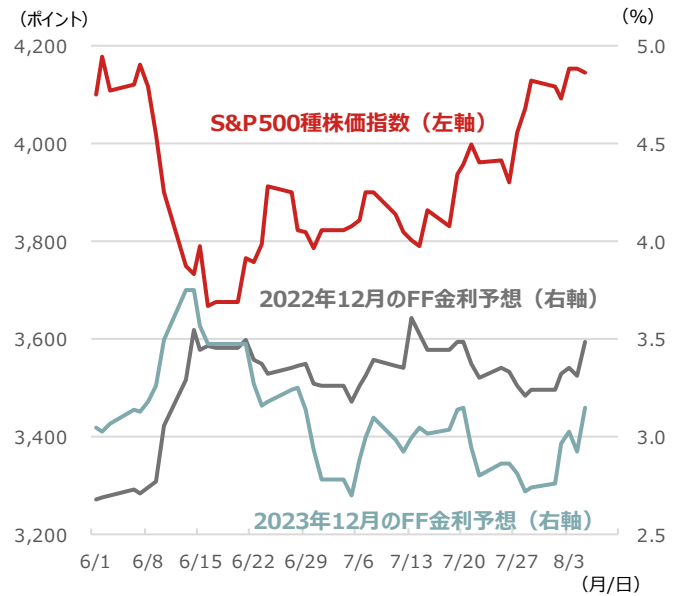
こうした状況にも関わらず、8月5日のS&P500種株価指数やNASDAQ100が日中安値から1%前後切り返して引けるなど、利上げ加速への警戒が高まった6月前半頃と比べ、利上げに対する耐性が強まりつつあるようにみえます（同図）。

ポイント② 足元で落ち着きをみせるクレジット市場

クレジット市場に落ち着きがみられることも、米国株にとって支援材料といえます。米金融市場の緊張状態を示すとされる米ハイイールド債スプレッドは、FRBによる過度な金融引き締めで市場が混乱した2018年末のパウエルショック時を一時上回りましたが、足元では再び低下基調に転じています（右下図）。

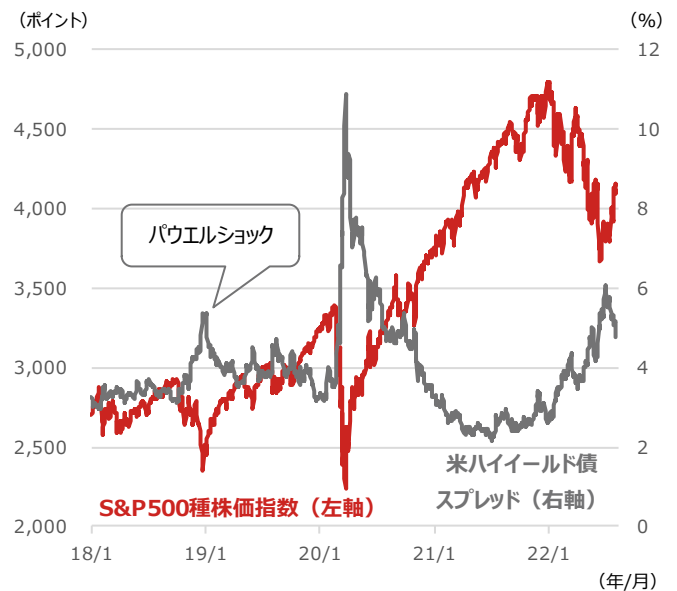
その背景には先々のインフレ鈍化を見越し、FF金利先物が2022年末よりも2023年末の方が低く推移するなど、来年にもFRBが利下げに動くとの見方が広がっていることがあります（右上図）。FRBが金融引き締め姿勢の転換に動くには、インフレの鎮静化が不可欠ですが、最近の商品相場的大幅下落や世界的な供給網の改善など、インフレ鈍化を示唆する動きもみられます。目先は市場の期待通り「インフレ鈍化→FRBの金融引き締め姿勢転換」という環境に向かうかが米国株の焦点となります。

S&P500種株価指数とFF金利予想



期間：2022年6月1日～2022年8月5日、日次
・FF（フェデラル・ファンド）金利予想はFF金利先物から予想される政策金利水準（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

S&P500種株価指数と米ハイイールド債スプレッド



期間：2018年1月2日～2022年8月5日、日次
・米ハイイールド債スプレッドは米10年国債利回りとの差、CSI BARC Indexを使用（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全体の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。